教育・人文科学

〔研究テーマ〕

# 1 日本の恋歌の比較文学的研究

# 2 若山牧水研究

# 3 宮崎県の短歌県づくりに連携した国語力育成構想の研究と実践開発

中村　佳文

なかむら　よしふみ
教育学部
国語教育

教授


## 研究概要

古典和歌研究を基盤とし、「日本の恋歌」についての比較文学的研究を進めている。和歌（古典）・短歌（近現代）の比較とともに歌謡曲＆Jpopの歌詞などとの比較を試み、新たな短歌への見方や考え方を模索している。また宮崎県出身の若山牧水についての研究では、明治期が音声言語から文字言語への大衆意識の転換時期と捉え、牧水短歌の響きや朗詠との関係など、音声表現との関係を中心として評論活動を展開している。また宮崎県庁と連携しつつ、「短歌県づくり」へ向けて様々な企画や活動への協力をはじめとして、宮崎大学短歌会の学生らとともに、県内の歌人の方々と協働し創作活動の活性化に努めている。併せて、短歌創作学習による国語力育成構想の研究と実践開発に取り組んでいる。

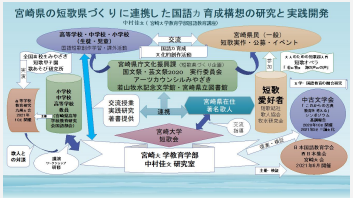
### 1　日本の恋歌の比較文学的研究

近刊『日本の恋歌とクリスマス―短歌とJpop』(新典社・2021年9月予定)
本学基礎教育科目「日本の恋歌―和歌短歌と歌謡曲」の書籍化第1弾。1980年代のクリスマスをはじめとして、明治期以降のクリスマス受容を短歌とJpopの歌詞で辿り、恋歌の核心は「待つこころ」であることを描き出す。また「短歌県みやざき」の歌人にも注目し、宮崎の地域性にこそ「待つことの愉悦」があることを読み取る。「国文祭・芸文祭みやざき2020」の先駆けプログラムとして、宮崎市内の書店と連携した出前講義の内容から生まれた書籍。

### 2　若山牧水研究

「牧水の学び―香川景樹『桂園一枝』と坪内逍遥「文学談」（第24号・2021年2月）
「牧水の聲―朗詠ができた最後の歌人」（第23号・2020年2月）
「牧水短歌の『姿（さま）』と和漢の共鳴―「木の葉のすがたわが文にあれよ」（第22号・2018年12月）
「明治四十三年の邂逅―牧水と啄木の交流と断章と」（第21号・2017年10月）
「牧水の朗誦性と明治という近代」（第20号・2016年10月）

### 3　宮崎県の短歌県づくりに連携した国語力育成構想の研究と実践開発




## キーワード

短歌（評論・創作）
和歌（平安朝・和漢比較）
若山牧水
恋歌
歌謡曲＆Jpop
音声表現（朗読・群読）
ラジオドラマ
創作学習

## 特許情報・共同研究・応用分野など

宮崎県庁文化振興課「短歌県づくり」共同研究
国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭２０２０実行委員会との連携事業
若山牧水研究会を中心とする牧水顕彰活動
若山牧水記念文学館及び宮崎県立図書館との連携事業（宮崎大学附属図書館）
宮崎県高等学校教育研究会国語部会
2019年度～2021年度
科学研究費基盤研究（C）
「対話を促す言語文化教材の開発―日本語の平仮名の場合―」共同研究者

## ホームページ

中村佳文研究室ブログ「虚往実帰」
http://inspire2011.blog.fc2.com

## 技術相談に応じられる関連分野

日本の恋歌・若山牧水の短歌・古典和歌に関する講演・ワークショップ
短歌創作活動を基礎とした国語力育成構想の研究と実践開発
音声表現活動を関連させた詩歌教材学習方法開発

## メッセージ

「みやざきを真の短歌県日本一に！」を合言葉に、県内在住の歌人の方々と協働し、文学で人間性豊かな生活ができる宮崎を目指します。「恋歌」を中心にJpopとの比較について著書を通して普及させ短歌と音楽の融合を図り、人生を深く思考できる環境づくりに貢献